

東広島市 スポーツツーリズム 推進方針

【概要版】



平成 30（2018）年 2 月
東広島市教育委員会

1 本方針の目的

1. 方針策定の目的

本市では、平成 29（2017）年 3 月に「スポーツで地域を創るまち東広島」を基本理念に掲げたスポーツ推進計画を策定し、スポーツによる交流の推進に向けて、「スポーツツーリズムの促進」を主要施策に位置づけました。

全国的に、スポーツツーリズムの推進に取り組む自治体が増え、スポーツイベントの開催や大会・合宿誘致、推進団体の設立等、自治体による様々な活動が展開されるようになってきており、こうした状況の中、スポーツに期待される役割が、「スポーツ振興」から「スポーツによる地方創生（スポーツを通じた地域・経済の活性化）」へと拡大してきています。

本市においても、本市特有の地域資源を活かし、スポーツを通じた誘客による交流人口の拡大や経済波及効果の拡大等を図ることを目的とし、本推進方針を策定することとしました。

▼本市が目指すスポーツツーリズム



本市が目指す将来像

スポーツで地域を創るまち

～地域に潤いと活力を生むスポーツツーリズムの推進～

② 国・県のスポーツ・観光の状況

1. 国の状況

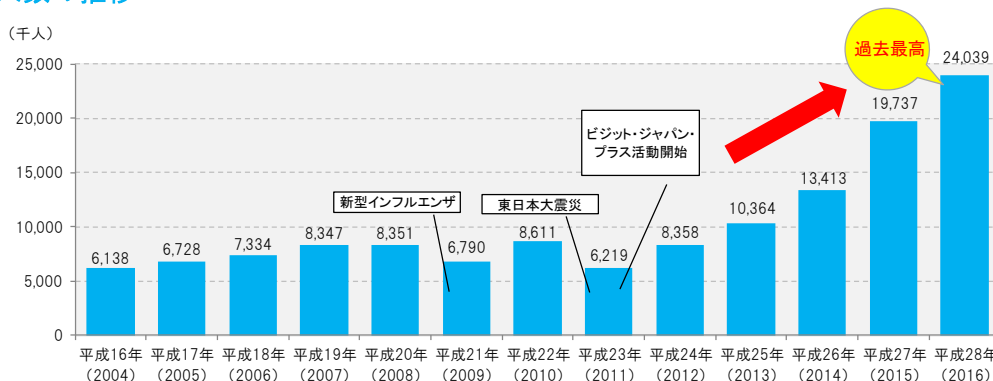
(1) 2020 年東京オリンピック開催に向けた、期待と準備

平成 23 (2011) 年に、観光庁主催のスポーツ・ツーリズム推進連絡会議が開催され、「スポーツツーリズム推進基本方針～スポーツで旅を楽しむ国・ニッポン～」を策定して以来、各地域でスポーツツーリズムを推進する「地域プラットフォーム組織」が続々と立ち上がっています。

観光面においては、平成 15 (2003) 年に「訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）」を開始し、訪日外国人数は右肩上がりが続けており、滞在中の支出総額も 3.7 兆円を上回り、外国人の誘致は外貨獲得において重要な役割を担っています。

また、平成 32 (2020) 年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、今後も日本に対する海外からの注目は高まっていくことが予想されています。

▼訪日外国人数の推移



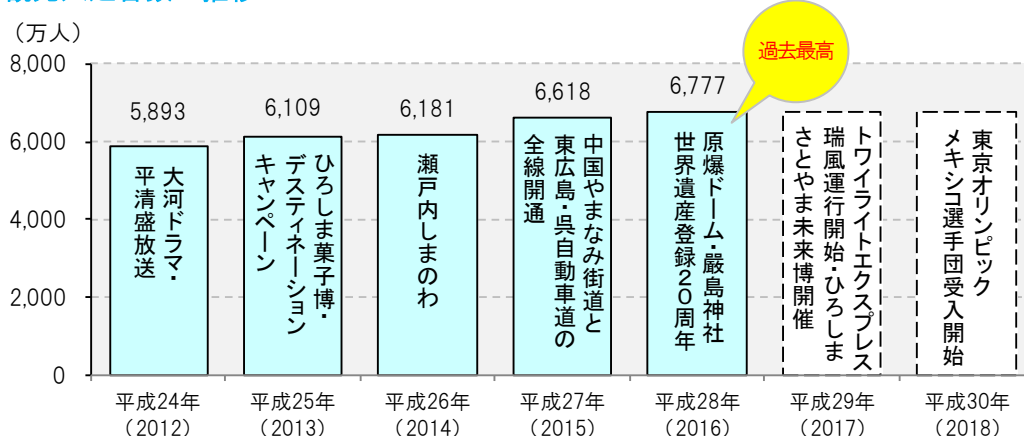
2. 県の状況

(1) 世界的認知度向上による、さらなる需要拡大への期待

広島県では、スポーツ基本法の制定、スポーツ基本計画の策定、オリンピック・パラリンピック東京大会の開催等、スポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、平成 26 (2014) 年 8 月に広島県スポーツ推進計画を策定し、スポーツをする人の割合増加、運動能力の向上、全国規模の大会で活躍できるようなジュニア選手の育成・強化、プロスポーツの観戦割合増加、大規模大会誘致等の目標に向けて取り組んでいます。

観光面においては、平成 28 (2016) 年の総観光客数は 6,777 万人で、5 年連続で過去最高を更新しました。その背景には、オバマ前米国大統領の来訪や原爆ドーム及び厳島神社の世界遺産登録 20 周年等、世界的に認知度が向上したことが考えられます。

▼広島県の観光入込客数の推移



③本市のスポーツ・観光の現状と課題

1. スポーツ施設及びアクセスの状況

本市には 50 以上の公共スポーツ施設があり、ゴルフ場においては、広島県・中国地方トップクラスの数を誇ります。

また、アクセス面においては、広島県のほぼ中心に位置し、県内外からのアクセスが良好です。

2. スポーツイベントの状況

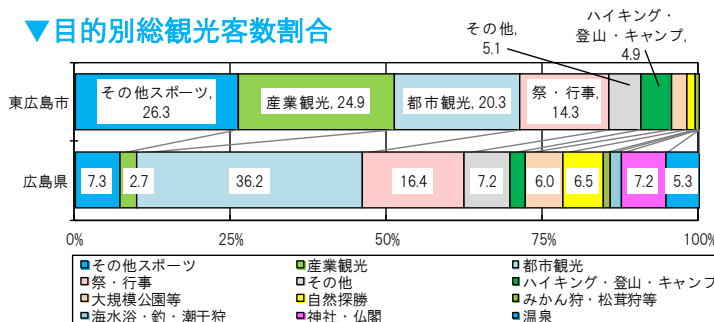
本市では、これまで市外からの誘客の見込まれるスポーツイベントとして、アジア大会や全国大会など大規模大会開催の実績があります。

3. 観光の状況

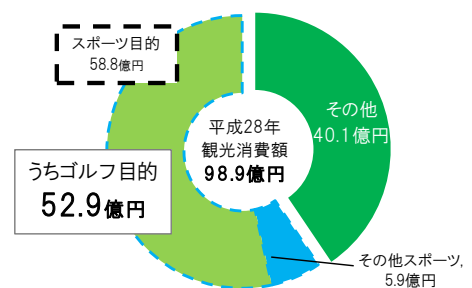
本市への観光客数は微増を続け、平成 28（2016）年には過去最高の 284 万人が訪れています。推定観光消費額の内訳をみると、約 6 割の 58.8 億円がスポーツ目的であり、なかでもゴルフは 52.9 億円と突出しており、ゴルフは本市の観光消費における柱となっています。

また、経路検索サービスの利用情報を基にした目的地検索回数のトップ 10 をみると、ゴルフ場が 6 件、スポーツ機能を有する施設が 2 件など、スポーツに関連する施設が大半を占めています。

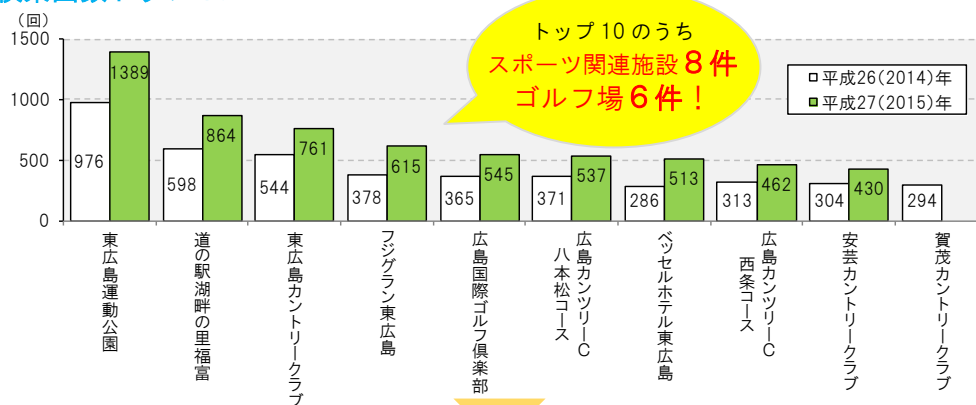
▼目的別総観光客数割合



▼推定観光消費額



▼目的地検索回数トップ 10



【POINT】

- ① 東広島運動公園を中心に、スポーツ施設が充実しており、アクセスも良好
- ② アジア大会や高校総体など、大規模大会の実績がある
- ③ スポーツ施設に多くの観光客が来訪
- ④ 観光消費額は、ゴルフが突出して多い

4 調査結果（抜粋）

1. 団体調査 （市体育協会加盟団体、市内ゴルフ場、地区医師会加盟整形外科、宿泊施設、旅行会社等 42 件回答）

- スポーツツーリズムへの参加について、イベントの内容によっては協力を考える団体が5割以上
- 集客力があるスポーツイベント等を育成する場合、プロスポーツ誘致に期待が寄せられている
- 本市に観光やビジネス等で訪れた方に、おすすめのスポーツは、ゴルフが最も多くなっている

2. 市内外スポーツ観戦客調査 （広島ドラゴンフライズ プレシーズンマッチ観戦者 316 人回答）

- 広島ドラゴンフライズの観戦者は市外及び県外からの来場者が7割強
- 試合で観光PRや特産品販売を行うことは効果的
- 試合前後に市内観光地を訪れるのは1割弱と少なく、飲食店を訪れるのは2割強
- 飲食店を訪れた人の1人当たりの消費額は推計で約2,250円

3. 東広島市スポーツツーリズム推進会議ワークショップ （東広島市職員参加）

- 「ゴルフ」「自然」「特産品」に対する意見が多く、今後のツーリズムの核となる
- 大学や企業が集積している強みを活かすことが望まれる
- いきなりメガイベントを打っても、周りがついてこなかったり、キャパオーバーになってしまうため、近場から段階的にスポーツイベントを始めるべき

4. 先進地事例ヒアリング （北海道ゴルフ観光協会）

- 広島県はインバウンド客から見て、文化的に魅力ある都市。ゴルフができることをアピールすれば、さらなる観光需要を見込めるはず
- 東京オリンピックを控え、スポーツツーリズムの動きは他市町でも活発になってきている
- 県内をはじめ近隣の県などの周辺地域と連携する必要がある

5. ゴルフ場意見交換会 （4回開催、市内7ゴルフ場の代表者参加）

- 市内のゴルフ場が各種団体等と連携し、スポーツツーリズムを進めることに賛成
- ゴルフに加えて、市内観光地や原爆ドームや宮島を周遊してもらうルートが考えられる
- イベントを開催し、女性や子どもにゴルフ場へ足を運んでもらう仕組みづくりが必要
- ゴルフ関係団体以外（宿泊施設、教育関係、企業、飲食店、旅行会社）との連携が必須

【POINT】

- ①スポーツツーリズムに取り組む意欲のある団体が複数ある
- ②「ゴルフ」が今後のツーリズムの核となるが、新規ゴルファーの創造が必要
- ③スポーツイベントでの観光PRや特産品販売は効果的
- ④スポーツ関係団体と飲食、特産品、観光、旅行会社等との連携が必須

5 スポーツツーリズム推進戦略

1. 将来像へ向けての取組

本市では、県内で最もゴルフ場が集積している強みを活かし、「東広島らしさ」のあるスポーツツーリズムの創出を目指します。

スポーツツーリズムの展開を通して、市内の関係団体等が win-win となるネットワーク化や市民がボランティアとして参加できる機会を提供し、それぞれが主体的にスポーツツーリズムに関わる環境を整え、地域に潤いと活力を生み出すことを目指します。

こうした取組を通して、交流人口の拡大、地域経済の波及効果、地域の知名度向上、地域住民のスポーツ活動の活発化を図り、「スポーツで地域を創るまち」の創造に寄与します。

スポーツで地域を創るまち

～地域に潤いと活力を生むスポーツツーリズムの推進～

▼3本柱

①ゴルフを核とした ツーリズム

本市のスポーツ資源において、最大の強みであるゴルフと、地域にあるさまざまな資源を掛け合わせて、観光消費の創出・交流人口の拡大を目指します。

②特色ある イベントの 実施支援

誘客効果の高いスポーツイベントと飲食、宿泊等の観光資源が連携したイベント等の実施を支援するとともに、そうした取組の助言や選定等を行う組織を設立します。

③情報共有 の仕組み づくり

スポーツ資源と観光資源の連携や情報共有を強化するとともに、各種団体や市民がスポーツに触れる機会を増やすことで、まちが活性化し続けることを目指します。

▼実現に向けての事業展開イメージ

【事業①】

スポーツで地域をつなぐ
ネットワークづくり

【事業②】

スポーツイベントの
開催・誘致

【事業③】

スポーツと
市民をつなぐ

【事業④】

段階的な
プロモーション

2. 事業を支える3本柱

① ゴルフを核としたツーリズム

地域の強みであるゴルフは市の観光消費額の柱となっており、幅広い世代が楽しめるスポーツであることに加え、地域にある様々な資源と掛け合わせることが可能です。

各ゴルフ場の魅力を広く「知ってもらい」、興味を持って「来てもらい」、来訪者の周遊範囲や購買機会等を「広げていく」仕組みづくりを目指します。

② 特色あるイベントの実施支援

本市が有する自然等を活かしたスポーツツーリズムの創出に向けた取組や、観光資源と誘客効果の高いスポーツイベントを結びつける取組を支援する仕組みを構築し、交流人口の拡大や地域経済への波及効果の拡大等を目指します。

そうしたスポーツツーリズムに寄与するイベントの選定や、助言を行う組織の設立を目指します。

③ 情報共有の仕組みづくり

スポーツを軸に飲食、特産品、宿泊、観光等との連携を強化し、win-win のネットワークづくりを目指します。

また、市民がスポーツを「観る」「する」「支える」機会の拡充を図ります。

3. 実現に向けての事業展開イメージ

【事業①】

スポーツで地域をつなぐネットワークづくり

- ゴルフ場支配人を中心としたゴルフツーリズム推進組織の設立
- 各ゴルフ場と特産品事業者や旅行会社等が連携した勉強会や意見交換会の開催
- イベント会場で特産品販売等の意欲がある事業者とのマッチングの検討 など

【事業②】

スポーツイベントの開催・誘致

- 「ゴルフのまち」としての知名度向上に寄与するイベントの開催支援
(プロツアー、新たなゴルフ客の創造やゴルフの魅力を伝えるイベント等)
- スポーツツーリズムに寄与するイベント等を支援する補助制度の構築 など

【事業③】

スポーツと市民をつなぐ

- 小・中学校のゴルフ場への社会見学等の受入
- ゴルフ場の魅力を知ってもらうイベント開催
- 東京オリンピックで事前合宿を行うメキシコ選手団との交流
- トップアスリートによるスポーツ教室の開催 など

【事業④】

段階的なプロモーション

- 市の広報紙やマスコミへの情報提供
- 道の駅等の来客数の多い施設へのパンフレット等の配置
- 県内・県外・海外への効果的なPRに向けた勉強会
- インバウンド誘致に向けた勉強会 など

6 ロードマップ案と連携体制

1. ロードマップ案

【平成 30 年度】

- ゴルフツーリズム推進組織設立
- モデルイベントの実施・検証
- 補助制度及び選考組織の制度設計
- 各種勉強会（インバウンド・特産品等）
- メキシコ選手団との交流
- コミュニティ健康運動パートナー育成

【平成 31 年度】

- モデルイベントの拡充・検証
- 補助制度の開始、選考組織の設立
- パンフレットの作成、配布
- 各種勉強会の継続、事業への反映

【平成 32 年度】

- ゴルフツーリズムイベントの支援
- 各種勉強会の継続、事業への反映

2. 計画の推進に向けての連携体制

